

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	大地震時耐震性能評価小委員会	主 査 名：岡野 創 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：五十田博 主 査 名：菊地 優
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>根拠に基づいて大地震に対する適正な対策を立案するために、建物の損傷とそれに伴う損失を定量的に評価する手法および DB を確立することを目的とする。</p> <p>初年度：RC,S 造骨組の部材フラジリティと修復費の暫定案，シンポジウム開催 2 年度：DB 公開の準備，2 次部材を含む部材フラジリティ・修復費の継続検討 3 年度：部材フラジリティの拡充，事前対策コストの検討，DB 逐次公開 4 年度：大会 PD (振動) 実施，刊行物の企画，成果展開法の検討，DB 逐次公開</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：岡野 創 (千葉大学)</p> <p>幹事：久家英夫 (竹中工務店)，杉野未奈 (京都大学)，西澤崇雄 (日建設計)</p> <p>委員：石原 直 (国土技術政策総合研究所)，糸井達哉 (東京大学)，伊山 潤 (東京大学)，梶原浩一 (防災科学技術研究所)，司 宏俊 (東京大学)，白井和貴 (北海道大学)，壇 一男 (熊本大学)，土肥 博 (NTT アーバンソリューションズ総合研究所)，長江拓也 (名古屋大学)，永野正行 (東京理科大学)，林 康裕 (京都大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・地震動評価WG：妥当性，ばらつきを含む地震動評価全般 ・RC造構造性能評価WG：該当構造の部材フラジリティ・修復費・応答評価 ・S造構造性能評価WG：該当構造の部材フラジリティ・修復費・応答評価 ・二次部材性能・コスト評価WG：該当部材のフラジリティ・修復費評価他 	
2021 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) <small>*能力開発支援事業委員会承認企画</small>	1. シンポジウム「大振幅地震動に対する耐震性能評価」—実験データに基づく建築物の損傷予測：部材フラジリティと修復コストのDB化を目指して— 『同名資料』 参加者数 180 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初企画した内容でシンポジウムが開催でき，アンケートも高評価であった 2. 部材フラジリティの試案，部材修復費の調査例が提示できた
委員会活動の問題点・課題	1. 各種構造の専門家との共同研究のよりいっそうの強化 2. 活動内容の認知度向上